

「京大地球物理の歴史を記録する会」発足の経緯

1909年に志田順先生が京都で地球物理学研究を始められてから百年が経ちました。これを契機に2009年度、(財)国際高等研究所のフェロー研究会として3回の研究会を開催し、その講演録を中心に「京大地球物理学研究の百年」の集録を2010年3月に刊行しました。さらに、この集録ではあまり触れられなかった研究分野を含めた原稿を集めて、「京大地球物理学研究の百年(Ⅱ)」の集録を2010年10月に刊行しました。

この集録(Ⅰ)及び(Ⅱ)の編集は、廣田勇、荒木徹、竹本修三の3名が担当しましたが、何度か編集会議を行い、以下のような点で意見が一致しました。

1. 教室関係の資料はなるべく地球惑星科学専攻の図書室に集めるように努力し、可能であれば教室関係図書のコーナーを設けてもらうことを要望する。
2. 集録(Ⅰ)及び(Ⅱ)で漏れている分野の紹介を中心とした集録の続編を刊行する。

これらの作業を継続して行うためには個人的な動きでは限界があるので、しかるべき組織のもとに「京大地球物理の歴史を記録する会」を作っていただき、そこで活動を継続することが望ましいということになりました。そこで2011年2月19日に開催された地物同窓会に「京大地球物理の歴史を記録する会」の設置を提案し、後日、同窓会幹事会のご了承をいただくことができました。

「京大地球物理の歴史を記録する会」の発足に伴い、早速、集録「京大地球物理学研究の百年(Ⅲ)(編者:竹本修三・廣田勇)」の準備を開始しました。集録(Ⅲ)は、2011年10月刊行を目指しております。皆様のご協力をお願いしたいと存じます。

また、卒業生のなかで本を出版された方は、その1部を地球惑星科学専攻図書室に寄贈していただければ幸いです。

(文責:竹本修三)